

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成24年5月17日(2012.5.17)

【公開番号】特開2002-90488(P2002-90488A)

【公開日】平成14年3月27日(2002.3.27)

【出願番号】特願2001-184173(P2001-184173)

【国際特許分類】

G 2 1 C 7/00 (2006.01)

G 2 1 C 5/00 (2006.01)

G 2 1 C 7/113 (2006.01)

【F I】

G 2 1 C 7/00 G D B B

G 2 1 C 5/00 A

G 2 1 C 7/10 J

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年3月21日(2012.3.21)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 2 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 2 7】

図4を参照して、本発明の1つの実施形態に従い、また上記で確認された大型燃料バンドル80に関連する問題に苦慮することなく、制御棒及び制御棒駆動装置を減少させる利点を得るために、実質的に標準の大きさの燃料バンドル36及び大型制御棒76が炉心22で用いられる。具体的に言えば、原子炉炉心22は、大型制御棒76及び従来の大きさの燃料バンドル36を含む。各大型制御棒76は、16個の従来の大きさの燃料バンドル36に対して毒物質制御を施すような寸法に作られる。従来の大きさの燃料集合体36及び大型制御棒76は、F格子構成94に配置されて、制御棒駆動装置及び制御棒の数を極力少なくするのを助ける。F格子構成94は、各大型制御棒76を囲繞する16個の従来の燃料バンドル36を備える互い違いの配列96になった大型の制御棒76を有する。